

アウトドアウェアの要求性能
～登山ブームに着目して～
A study of function required for Outdoor wear
-Focus on Climbing boom-

1K08B182-1
指導教員 主査 原田 宗彦 先生

氏名 藤原 卓之
副査 木村 和彦 先生

【緒言】

日本では、近年、第三次登山ブームが起こっている。その要因として挙げられるのは、「ユーキャン新語・流行語大賞の2010年候補語60語」にもノミネートされた「山ガール」であり、近年の登山実施人口の増加に繋がっていると言われている。また、登山実施人口の増加はアウトドアウェア用品市場においても貢献している。株式会社矢野経済研究所の報告した「スポーツ用品市場に関する調査結果2012」と「スポーツアパレル市場に関する調査結果2011」によると、2011年のアウトドア用品の国内市場規模は前年比の108.9%、アウトドアウェアの国内市場規模は前年比の109.8%と、好調を維持している。その背景として、株式会社矢野経済研究所は『「山ガール」ブームが発端となってアウトドア活動を始めた人が、買い替え、買い増し需要が拡大しているため』と述べ、さらに、「今後アウトドア活動がライフスタイル化した人の中では、商品に対して本質を求めるようになっており、よりステップアップした購買行動を見せる。」と推察した。このような社会的背景を含め、今後、アウトドア活動がライフスタイル化した人々のニーズを満たし、活動を普及と充実させるための知見を得ることは、アウトドア用品市場にとって重要であると考えられる。

【目的】

登山者間におけるアウトドアウェアに求める性能および、要求性能とライフスタイルとの関連性を明らかにし、近年のアウトドアウェアの消費傾向を理解することで、アウトドアアパレル用品のマーケティングにおける基礎資料を得ることを目的とする。

【調査・分析方法】

本研究では、高尾山登山者を対象にアンケート調査を行った。分析は、SPSS (Ver. 20.0) を使用し、単純集計、クロス集計、 χ^2 検定、t検定、一元配置分散分析、探索的因子分析、クラスター分析を必要に応じて行った。

【結果】

(1) アウトドアウェアに対しては、男性は私服の延長線上の位置付けであり、女性は私服との間で線引きしている傾向がみられた。また、「20代」は「30代以上」より「私服目的」としてアウトドアウェアを購入している傾向がみられた。
(2) アウトドアウェアに対する要求性能では、性別、年代、アウトドアウェアの所持者未所持者間において、求めている性能に違いがみられた。男性は女性より「話題性」や「ブラ

ンド」といった要素を求めるのに対し、女性は男性より「撥水性」、「防風性」、「UVケア」、「消臭性」、「抗菌防臭」、「軽量性」といった要素を求めている傾向があった。ウェア所持者は「ファッション機能」、「流行機能」を求めるのに対し、ウェア未所持者は「インナー機能」を求めている傾向があった。「30代以上」は「20代以下」より「インナー機能」に対する需要が大きい傾向があった。(3) ライフスタイル因子の合成得点から、登山者の性別、年代におけるライフスタイルの特性がわかった。登山者には、趣味を通じ、スポーツに関わろうとする意欲が高い傾向がみられた。性別では、男性は女性より、勝利にこだわり、周囲の評価などブランドを意識したスポーツ参加がみられるが、一方で、物事に対して流されやすく、飽きっぽい傾向がみられた。女性は男性より、健康への配慮や趣味などを通じたスポーツ参加をする傾向がみられた。年代では、「10代」と「20代以上」において健康への配慮に違いがあった。また、「20代以下」はスポーツへの間接的参加に意欲的であることがわかり、「20代」をピークに勝利に対するこだわりが薄れていく傾向があることがわかった。(4) 登山者のライフスタイルの特性ごとに、5つにサンプルを分類することができた。また、各分類において、以下のようなアウトドアウェアに対する要求性能に違いがみられた。

「純粋趣味登山者」：流行やブランドにとらわれない自身のファッションの趣向に応じた運動目的のウェアを好む傾向にある。

「健康志向登山者」：アウトドア機能、インナー機能といった身体に関わる機能に加え、デザイン、色といったファッション機能など幅広い機能を好む傾向があり、ウェア購入金額も他クラスターに比べ多く支払う傾向にあった。

「特殊登山者」：アウトドアウェアに対する性能に大きな関心を示さず、アウトドアウェアにこだわらず、他の衣類を登山着として着用する傾向にあった。

「消極的登山者」：アウトドアウェアに対する性能に関心は強くないが、デザイン、流行にとらわれない天候などの外的影響に強いウェアを好む傾向にあった。

「ブーム登山者」：ファッション機能、流行機能に関心を示しており、ブランドや話題性と色やデザインにこだわったアウトドアウェアを好む傾向にあった。